

2018年8月 (No.350)

## 主な内容とページ

天井感から減速へ.....	1
高原状態に伸び上乘せ .....	2
日本向けも4期連続1兆円台 .....	3
年末に向け減速で雰囲気一変.....	5
サムスン、TSMCなど20社中11社が前期比減益 .....	5
傑出した四半期を確保、米大手半導体企業 .....	10
利益率は税引き後30%突破 .....	10
静かなエアコンとうなる車(SRL だより) .....	14

---

## 天井感から減速へ

第2四半期までの結果が出揃い、絶好調の半導体産業の姿と今後の姿が映し出された。

1. 世界の半導体出荷は、今年上期(1-6月)で前年同期比2割増、メモリは同6割増と絶好調。昨年2割成長からさらに積上げし、成長力も維持している。
2. 四半期単位では、ブームを演出したメモリの伸びが第2四半期に天井感に達し、今後は減速が避けられなくなった。
3. 半導体市場では中心のスマートフォン向けで伸びが期待出来ず、堅調だった産業機器向けや車用も米中貿易戦争の影響などから受注に変化。今後は売上減の可能性も出て来た。

## 静かなエアコンとうなる車

記録更新の今年の夏。エアコンは売れ、設置工事はどこの店でも相当待たされる事態。気が付いたのは、暑さで車のラジエータ・ファンがフル稼働。とくに軽自動車はすごい例が多く、人間と同様に暑さに音を上げているような感じ。とくに断続的なうなりは不快で、温度が上がるほど間隔が小刻みになり、悲鳴のよう。

運転している人は、それほど音を感じないようだが、外側は違う。音量の制約はあるようだが、断続的な動作が圧力をもたらし、息苦しさとなる。かつて家庭用あるいは店舗用エアコンもうるさい例があったが、最近は見当たらない。車も、同じような技術で、おとなしくならないか、それとも電気自動車(EV)まで、待たされるのか。

ネットでの知識だが、車のエアコンは家庭用エアコンに比べ性能が数倍高いという。砂漠は極端としても、車での暑さ寒さは家の比ではないことは明らか。EVもエアコンの電力消費が実用上の課題。従ってこの分野はまだまだ進歩の余地がありそう。ファンの音も、静かで、人にやさしいものに出来ないものだろうか。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL(半導体総合研究所)ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL(半導体総合研究所)の解釈と分析で表現したものです。

2018 年 著作権所有 SRL(半導体総合研究所)

### SRL Monthly Report

2018 年 8 月(毎月 1 回発行)第 29 巻 8 号(通巻 350 号)

発行元: 株式会社 SRL  
〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35  
TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023  
編集・発行人/大竹 修

### SRL Monthly Report

August 2018, No.350

Semicon Research Ltd.  
3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014  
Japan Mail: info@semiconresearch.co.jp  
Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2018

購読料金1年分(12号)98,000円(税別)